

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	トライデント・アビス	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：TRIDENT ABYSS

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

4-1/2

番

研磨剤

比較対照ボール：TRIDENT QUEST

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

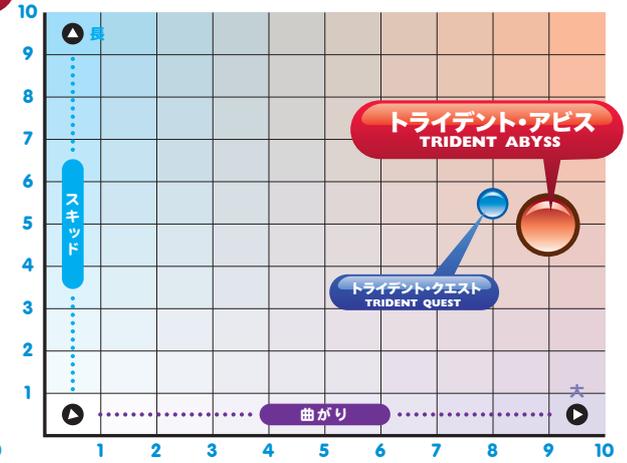
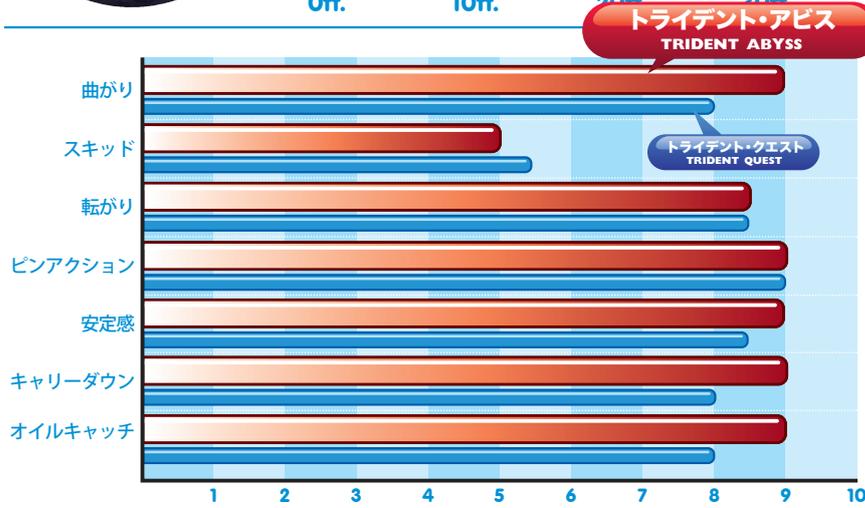
4-1/2

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

MOTIV社がヘビーオイル対応のボールとして2つのボールを提供しています。一つは日本で最もポピュラーなJACKAL。そしてもう一つがTRIDENTです。Coercion Reactiveと聞けばJACKAL、TRIDENTで知られているカバーストックですが、今回TRIDENT ABYSSに採用されている素材はCoercion HV3(High Volume 3 Generation)というJACKAL RISINGで使用されたCoercion HV2 Reactiveの進化形のSolid Reactiveで、キャッチの強さを前面に出しているカバーストックですが、随所にMOTIVの拘りがみえるボールに仕上がっている印象があります。

最近のMOTIV社のボールの傾向は、ヘビーオイル対応のボールでキャッチを前面に出していますが、フロントエリア、特にスパット前後の直進力は衰えさせずにMidから先のキャッチ感で曲りの強さを変えているように感じます。

ヘビーオイル対応のボールであっても手から離れた瞬間から曲りが出るようなイメージではなく、Midのプレーキングの強さを強調させているようです。このTRIDENT ABYSSは2000 Grit LSSと粗目の仕上げですが、手前はやや軽さがあり、Midで強くプレーキングが効くものそこからグイグイと曲りの強さが増すのが第一印象で、ヘビーオイル対応のボールであっても「手前で失速させない」と、「オイルをしっかり捉え曲がる」という二つを兼ね備えることで、幅広いタイプのポウラーに使用して頂けるよう多角的に検証され開発されている経緯が読み取れます。

私の投球したイメージではJACKAL RISING<BLACK JACKAL<TRIDENT ABYSSに感じますので、JACKALでプレーキングが甘いと感じたコンディションでABYSSを使用して頂くのも選択肢の一つとして、また他のメーカーのボールを使用していて、曲りが欲しい方にはこのABYSSを試す価値はあると思います。

特記事項